

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書の訂正報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第4項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成26年8月11日

【四半期会計期間】 第65期第1四半期（自平成26年4月1日至平成26年6月30日）

【会社名】 旭松食品株式会社

【英訳名】 ASAHIMATSU FOODS CO.,LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 木下 博隆

【本店の所在の場所】 長野県飯田市駄科1008番地
(同所は登記上の本店所在地で、実際の業務は下記で行っておりま
す。)
大阪市淀川区田川三丁目7番3号

【電話番号】 06(6306)4121(代表)

【事務連絡者氏名】 執行役員経理部長 足立 恵

【最寄りの連絡場所】 大阪市淀川区田川三丁目7番3号

【電話番号】 06(6306)4121(代表)

【事務連絡者氏名】 執行役員経理部長 足立 恵

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)
旭松食品株式会社 東京支店
(東京都中央区日本橋人形町二丁目33番8号)
旭松食品株式会社 大阪支店
(大阪市淀川区田川三丁目7番3号)

1 【四半期報告書の訂正報告書の提出理由】

平成26年8月11日に提出いたしました第65期第1四半期(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)の記載事項の一部に誤りがありましたので、これを訂正するため四半期報告書の訂正報告書を提出するものであります。

2 【訂正事項】

第一部 企業情報

第2 【事業の状況】

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

3 【訂正箇所】

訂正箇所は___を付して表示しております。

第一部 企業情報

第2 【事業の状況】

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

(訂正前)

(省略)

その結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間の売上高は21億4千万円(前年同四半期比7.1%減)となりました。食料品事業セグメントの内訳としては、凍豆腐では、当社グループ独自の新たな製法による減塩タイプの凍豆腐を積極的に拡販し、新聞・雑誌などの媒体を活用しPRを行いました。しかしながら既存品の販売数量は減少し、売上高は8億2千8百万円(前年同四半期比8.1%減)となりました。加工食品においては、カップ入りで好評の「しじみ汁」の5食タイプや「野菜のみそ汁」「とん汁」をリニューアルし発売するなどの販売活動を行ってまいりましたが低価格競争は激しく販売数量は減少し、売上高は9億1千4百万円(前年同四半期比8.6%減)となりました。その他の食料品では医療用食材が堅調に推移しましたが、それ以外の食料品は低調のため売上高は3億8千7百万円(前年同四半期比2.1%減)となりました。

(省略)

(訂正後)

(省略)

その結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間の売上高は21億4千万円(前年同四半期比7.1%減)となりました。食料品事業セグメントの内訳としては、凍豆腐では、当社グループ独自の新たな製法による減塩タイプの凍豆腐を積極的に拡販し、新聞・雑誌などの媒体を活用しPRを行いました。しかしながら既存品の販売数量は減少し、売上高は8億2千8百万円(前年同四半期比8.1%減)となりました。加工食品においては、低価格競争が激しく販売数量は減少し、売上高は9億1千4百万円(前年同四半期比8.6%減)となりました。その他の食料品では医療用食材が堅調に推移しましたが、それ以外の食料品は低調のため売上高は3億8千7百万円(前年同四半期比2.1%減)となりました。

(省略)